

クレンツェ金管四重奏団 Kränze Blechbläserquartett

東京近郊のアマチュア金管楽器奏者 4 人により 2006 年に結成。その後メンバーの入れ替わりを経て現在に至る。メンバーは全員がドイツまたはウィーンタイプの楽器を使用している。団体名のクレンツェ Kränze はドイツ語名詞 Kranz の複数形。Kranz とは環状のもの、とりわけ花環、花冠などを意味する。また、独逸系の金管楽器の朝顔部分に取り付けられる環状の響き止め（植物などをかたどった美しい彫刻が彫られていることが多い）のことも Kranz と呼ぶ。さらには「会」「小さな集い」といった意味も持つ。独逸系の金管楽器の美しい響き、ひいてはそのようなものを産み出したヨーロッパの歴史や文化に対する敬意を表しつつ、我々の小さな集まりから流れ出る音楽が人々を繋ぐ大きな環となることを願って、この語を団体名に冠した。



和氣愛仁(わき・としひと) : トランペット

1970 年生まれ。栃木県出身。9 歳よりトランペットを始める。高校在学中、津堅直弘氏にトランペットを師事。筑波大学在学中より、ガンマプラスアンサンブル、ピストンクラブに参加。主にピッコロトランペット等の短管トランペットおよび編曲を担当。長年トランペットを吹いてきたにもかかわらず今ひとつトランペットの音が好きになれないというジレンマが、実は子供の時から聴いてきたトランペット（独逸系オーケストラにおけるロータリー式トランペット）と自分の吹いているトランペット（ピストン式トランペット）の、楽器そのものの根本的な違いによるものであるということに気づいて以来、ロータリートランペットによる小編成アンサンブルに目覚める。職業は大学教員。使用楽器はヴィンディッシュ(B 管、C 管)、レヒナー(C 管、ピッコロ)。



安積源也(あづみ・げんや) : トランペット

1976 年生まれ。新潟県出身。10 歳よりトランペットを始める。北村源三、曾我部清典の各氏に師事。筑波大学在学中よりアンサンブル・テルプシコーレに参加。もっぱら高音域を担当し、飛び道具などと称される。高校時代、吹奏楽部のない学校に進学してしまったため、毎朝学校の始まる前の 15 分ほどを一人で吹きつけた怪しい過去を持つ。トランペットらしからぬ吹き方は、この頃の影響が大きいと思われる。当団には第 3 回演奏会より参加。職業は中高一貫私学教諭。使用楽器はシャガール(C 管)。



松村壮(まつむら・たけし) : トロンボーン

1966 年生まれ。島根県出身。1979 年 4 月、中学校吹奏楽部入部を契機にトロンボーンを始める。しかし音楽に関する関心が希薄で、楽器や作曲家や曲(クラシックも吹奏楽も)に関して殆ど知識を持たないまま中、高、大学、と楽器を続けた。今もちょっとしか知らない。筑波大学管弦楽団時代に今井順夫氏に師事。大学在学中よりつくばトロンボーンクラブ、ガンマプラスアンサンブルに参加している。レントラートロンボーン四重奏にも参加していたが現在休眠団体となっている。休符を数えるのが苦手でオーケストラへの志向は無い。職業は医師。使用楽器はヤマハウィンナモデル(テナーバス)。レッチェのアルトトロンボーンも所持しているが最近殆ど使用していない。



柳田允(やなぎだ・まこと) : バストロンボーン

1979 年生まれ。山形県出身。12 歳よりトランペットを始めようとするも音が出ず、諦めてユーフォニアムを始め、中高時代は吹奏楽部で活動する。東京大学音楽部管弦楽団への入団を機に、18 歳よりバストロンボーンを始め、今井順夫氏に師事。在学中よりファイアワークスプラスアンサンブル、アンサンブル・フェスタに参加。オーケストラ方面では大学オケ卒業後しばらくはふらふらしていたが、縁あって 2008 年よりザ・シンフォニカに所属する。トロンボーンを始めた頃、周りにはドイツの楽器を使っている人がとても多かったため、薦められるまま特に何も考えずにいつの間にかドイツの楽器を吹くようになっていた。このように特殊な環境で育ったため、割と一般的に流通していると思われるアメリカの楽器を吹いたのは実はザ・シンフォニカに入団した時が初めてであった。オーケストラも小編成アンサンブルも、気力が続くうちは何でもやってみようという年頃。職業は会社員。使用楽器はタイン。

Kränze
Blechbläserquartett

<http://kraenze-bq.net/>

クレンツェ金管四重奏団 第 5 回演奏会

— 歌の翼に —

2014 年 3 月 29 日(土) 18:00 開場 18:30 開演

求道会館 (東京都指定有形文化財)

地下鉄南北線「東大前」駅下車徒歩 5 分
東京都文京区本郷 6-20-5
tel. 03-6804-5282
<http://www.kyudo-kaikan.org/>

※会場は土足禁止になっていますので、備え付けのスリッパに履き替えていただきます。あらかじめご了承ください。

求道会館について

求道会館は、創立者近角常観(ちかづみじょうかん)が浄土真宗の信仰に基づき、仏教によって結ばれる人々の交流を願い建設した教会堂で、大正 4 年に完成しました。優れた歴史的建造物として東京都の指定有形文化財になっています。

